

## 5 自然環境の保全

市は、平成22年3月に望ましい環境像「人と生きものが仲よくらせるまち」の実現を目指した「鯖江市環境基本計画（改訂版）」を策定した。同計画には、自然環境を保全するための事項について、以下のとおり規定している。

- ・山林の保全と整備
- ・里地里山の保全
- ・自然とのふれあいの推進
- ・野生鳥獣保護と有害鳥獣対策の推進
- ・動植物の保護と生息環境の保全
- ・法規制等による自然環境の保全
- ・市街地等における緑地の確保と景観の保全
- ・歴史・文化遺産の保全と活用

鯖江市の良好な環境を育んでいくためには、市民・環境団体・事業者・行政の各主体がそれぞれの役割を十分に認識した上で、環境保全に向けて一体となって取り組んでいくことが必要である。

### (1) 湧水の保全

市内には、16箇所の湧水が確認されているが、そのうち、上河内町の「桃源清水」と「三場坂清水」米岡町にある「榎清水」、定次町にある「許佐羅江清水」（平成24年8月認定）、上戸口町にある「刀那清水」（平成25年9月認定）の5箇所が、福井県の「ふくいのおいしい水」に認定されている。市では、これらの清水を安心して利用していただくため、水質検査を定期的実施している。

#### 【桃源清水】

河和田地区民の飲料水として親しまれていたが、平成16年7月の福井豪雨により被災し、利用できなくなった。しかし、平成18年の春、地域の総力により新たに「桃源郷」として復興した。

その昔、継体天皇が水源を求めてこの郷へ来られた折、河内桃を取ろうとして冠を破損し、地元の塗師職人にその冠を直してもらったという伝説がある。このことが縁で大王が河和田漆器に深く関心を持つようになったことから、地元では桃源清水を大王聖水とも呼んでいる。地域住民はもとより、市内外からこの地を訪れる人も多い。



#### 【三場坂清水】

上河内町には、継体天皇が山中に薄墨桜（エドヒガン桜）を植えたという伝説があり、この薄墨桜は、昭和46年に市指定文化財（天然記念物）となっている。三場坂 清水は、岩清水とも呼ばれるように、岩から湧き出る清水であり、この薄墨桜の場所へ行くための登り口があり、水質もよく、現在でも飲用に適している。また、平成21年には、地元の人たちの手により、清水へ向かう山道沿いに古くからアワや稗を挽くのに用いられていた「バッテリー水車」が復元され、昔ながらの風情が残されている。



### 【榎清水】

榎清水は、千古の昔から湧き出でているとされており、1645年に福井藩の支藩として誕生した吉江藩（～1674年）の藩士の子どもであった近松門左衛門が、幼少期を吉江で過ごし、この清水で仲間とともに水遊びに興じたとも伝えられている。

吉江藩が廃藩となった後も、地域の人々の生活用水として大切に守られ、今日まで一度も涸れることなく清らかな水を満たし続けており、南にある蓮池とともに地域住民に愛され親しまれている。



### 【許佐羅江清水】

古くは西暦1419年に書かれた「舟津社記」にその存在が記載されている、舟津七清水と呼ばれる湧水のうちの一つである。

現在、舟津七清水の他の湧水が枯渇あるいは消滅する中で許佐羅江清水はその姿をとどめている。

平成23年には、水資源の豊かさを示す貴重な史跡として鯖江市指定の文化財に登録され、水飲み場として東屋が整備された。



### 【刀那清水】

刀那清水は、三峯山（標高404m）のふもと、上戸口町集落の入口に位置し、古くから地域の飲み水、生活水として親しまれている。

三峯山には、南北朝時代に南朝軍の武将、新田義貞の弟、脇屋義助が築いた三峯城跡があり、この城跡からは戦国時代に栄えた朝倉氏遺跡がある一乗谷が一望できる。

さらに、上戸口町の谷の奥には戸口滝（刀那の滝）があり、清流として知られている。



## (2) 環境保全区域

鯖江市環境市民条例の規定に基づき、平成21年4月に、河和田地域の豊かな自然と地域の人たちが共生できる環境づくりを支援するため、以下の区域を「環境保全区域」に指定した。区域内における一定の事業に対して、事業者へ届出を義務付け、環境への影響を監視することによって、区域内の環境の将来的な保全を行っていく。環境保全区域は、以下のとおりである。

### 【ゲンジボタルの里】

金谷川（中山公園東側）約0.35km（面積：4304.8㎡）の区域

### 【オシドリの里】

河和田川（天神川合流点から河和田橋）約1.1km（面積：27275.8㎡）の区域

なお、指定期間は平成21年4月1日～平成31年3月31日までである。

また、平成21年度から河和田川、天神川および金谷川において水質検査を実施している。平成26年度の検査結果は以下のとおりである。

表 3-4-5-1 平成26年度 河和田地区河川水質調査結果

測定地点		調査項目									
		水素イオン濃度	生物化学的酸素要求量		溶存酸素量	浮遊物質	大腸菌群数	全窒素	全りん	陰イオン界面活性剤	非イオン界面活性剤
			(mg/l)		(mg/l)	(mg/l)	(MPN/100ml)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)	(mg/l)
		4回測定 の 平均値	4回測定 の 平均値	4回測定 の 75%値	4回測定 の 平均値	4回測定 の 平均値	4回測定 の 平均値	2回測定 の 平均値	2回測定 の 平均値	2回測定 の 平均値	2回測定 の 平均値
河和田川	旭橋	7.9	1.0	1.0	10	2	100	0.59	0.023	0.01未満	0.1未満
	太郎丸橋	7.8	1.4	1.4	10	5	6900	0.66	0.052	0.01未満	0.1未満
	河和田橋	7.8	1.5	1.5	11	5	3100	0.65	0.063	0.01未満	0.1未満
天神川	大上宮橋	7.8	1.7	2.0	10	6	11000	0.84	0.096	0.01未満	0.1未満
金谷川	公園東橋	7.9	1.5	1.4	11	8	1800	0.47	0.052	0.01未満	0.1未満

## (3) 里地里山における生物多様性保全活動の促進

市では平成23年度に、環境保全区域周辺の生態系把握をするため生物調査や自然観察を実施し、同時に自然を体験してもらうため3つの生き物観察会「さばえ生き物みつけ隊」を実施した。この生物調査と自然観察会のデータを元に、環境保全区域に生息している生物について取りまとめた。

平成24年度には、許佐羅江清水周辺にかつて棲んでいたトミヨを復活させるための事業として、治左川と近隣で飼育されているトミヨの遺伝子解析および許佐羅江清水の生息環境調査を行った。

## (4) 市民との協働による清掃活動の実施

市では、平成17年度から、毎年3月の最終日曜日に各町内で実施される「市民クリーンデー」に合わせ、「日野川クリーンアップ作戦」と銘打って、市職員をはじめ、消防、県、国の行政機関の職員に参加協力を呼びかけ、日野川の堤防や法面に不法投棄されたごみの回収作業を実施している。

平成26年度は約150名の参加により、日野川の白鬼女橋から石田橋付近までの区間の清掃を行った。

市では、今後も継続して清掃作業を実施し、環境美化活動の輪を広げていきたいと考えている。

## **(5) 日野川(支流を含む)を清く美しくする会**

日野川(支流を含む)を清く美しくする会は、昭和47年に設立され、市内全戸が会員となっている鯖江市最大の団体であり、日野川およびその支流における清掃美化活動や環境美化啓発、自然保護思想の普及啓発活動などを継続して実施している。主な活動内容は以下のとおり。

### **【河川一斉清掃】**

5月の最終日曜日に、区長会の協力により、日野川およびその支流の河川敷清掃および草刈りを実施する。

### **【河川パトロール】**

日野川河川敷をパトロールし、立木やごみの不法投棄、河川敷の不法占拠・使用の現状を把握し、関係行政機関に対策を要望する。

### **【水生昆虫観察会】**

市内の小中学生を対象に、日野川に生息する水生昆虫の調査・観察を行い、それを指標に河川の汚れを把握する。

### **【野鳥を観る会】**

日本野鳥の会福井県丹南ブロック会員の指導により、日野川および西山公園に生息する野鳥を調査する。

### **【さばえ菜花の種蒔き】**

河川敷の景観を保全し、河川愛護意識の高揚を図るため、日野川の河川敷等にさばえ菜花の種をまく。

### **【河川の水質浄化の協力要請】**

河川の水質汚濁を防止するため、流域の事業所への河川の水質浄化の協力の要請を行う。

### **【河川美化啓発看板の設置】**

水質汚濁防止やごみのポイ捨て禁止を目的とした環境保全意識の啓発のため、市内の各河川に立て看板を設置する。